

# インドネシア、トラジャの変容する慣習は地域住民の山地斜面利用にどのような影響を及ぼすか？

急峻な地形環境から耕作適地が限られるなか、トラジャの地域住民は、地形に応じた斜面利用により生業を営む。また住民による耕作地の栽培種選択は地域の慣習を反映するが、その慣習とは社会状況に応じて地域的に戦略的に変容したものである。地域的な「慣習」の差異の影響は住民の意思決定過程を通じて土地利用に現れる。地域住民は環境変化をどのように捉えているのだろうか？

本発表は、地域の慣習と土地の結びつきに着目し、衛星画像から土地利用変化履歴と地域住民の環境認知の変化をたどる。

## 大出亜矢子 氏

(京都大学 大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)

日時：2014年12月19日(金) 16時～

場所：京都大学 総合研究2号館

4階大会議室 (AA447)

HERE!

参加費・事前登録は不要です。  
皆様、奮ってご参加下さい。  
また、会后には懇親会を予定しております。

<お問い合わせ先>

小坂： 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科  
Kosaka[at]asafas.kyoto-u.ac.jp

柳澤： 京都大学地域研究統合情報センター  
Masa[at]cias.kyoto-u.ac.jp

